

海軍公報 (部内限) 第二千八百七十五號

海軍大臣官房

昭和十三年四月一日(金)



○令 達

官房機密第一七三七號

大正十五年官房機密第九〇〇號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年四月一日

海軍大臣

(内令提要卷一、四六三頁参照)

○通 牒

經契第三號ノ三七〇

昭和十三年四月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

購買契約ニ關スル件通牒

左記購買契約ハ昭和十三年四月以降七月迄更新スルコトニ決定致候條右ニ依リ處理相成度

記

海軍公報 (部内限) 第二千八百七十五號

昭和十三年四月一日

三三七

經契第三號ノ一七〇九及
航空機用デュラルミン材

經契第三號ノ一九三一
航空機用四十五瓦デュ
ルミン材

經契第三號ノ一九三一
航空機用鋼管

經契第三號ノ一七〇三
航空機用亞麻羽布、毛羽
出テীগ切込テীগ

經契第三號ノ一七八三
航空發動機用氣筒胴粗材

經契第三號ノ一七八四
航空發動機用曲軸軸粗材

經契第三號ノ八三
夜光ペイント

經契第三號ノ三三二
航空發動機用發火栓

經契第三號ノ四一九

昭和十三年四月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

昭和十三年四月以降海軍航空機用鋼片鋼棒

購買契約ニ關スル件通牒

首題ノ件經契第三號ノ一七三二通牒並ニ經契第三號ノ

一九三一通牒ノ契約單價中左記ノ通變更ヲ加ヘ昭和十三年四月以降七月迄契約致候條右ニ依リ處理相成度

記

一、日本特殊鋼株式会社、株式會社大同電氣製鋼所、

株式會社日立製作所並ニ特殊製鋼株式會社ニ對スル分

丸棒單價表中耐熱鋼珪素クロム鋼ノ次ニ左ノ通追加ス

品 種	材 質	規 格	新符號	單 價	
耐熱鋼	ニッケル、クロム、マンガノ鋼	假規六九	イ三〇三	一六、八〇	一〇、〇〇
				一〇、〇〇	一〇、〇〇
				二一、二二	二一、一〇
				二二、二四	二二、〇〇
				二二、二四	二二、〇〇
				二二、二六	二二、〇〇
				二二、二六	二二、〇〇
				二二、二八	二二、〇〇
				二二、二八	二二、〇〇
				二二、三〇	二二、〇〇
				二二、三〇	二二、〇〇
				二二、三二	二二、〇〇
				二二、三二	二二、〇〇
				二二、三六	二二、〇〇
				二二、三六	二二、〇〇
				二二、三八	二二、〇〇
				二二、三八	二二、〇〇
				二二、四〇	二二、〇〇
				二二、四〇	二二、〇〇
				二二、四二	二二、〇〇
				二二、四二	二二、〇〇
				二二、四四	二二、〇〇
				二二、四四	二二、〇〇
				二二、四六	二二、〇〇
				二二、四六	二二、〇〇
				二二、四八	二二、〇〇
				二二、四八	二二、〇〇
				二二、五〇	二二、〇〇
				二二、五〇	二二、〇〇
				二二、五二	二二、〇〇
				二二、五二	二二、〇〇
				二二、五四	二二、〇〇
				二二、五四	二二、〇〇
				二二、五六	二二、〇〇
				二二、五六	二二、〇〇
				二二、五八	二二、〇〇
				二二、五八	二二、〇〇
				二二、六〇	二二、〇〇
				二二、六〇	二二、〇〇
				二二、六二	二二、〇〇
				二二、六二	二二、〇〇
				二二、六四	二二、〇〇
				二二、六四	二二、〇〇
				二二、六六	二二、〇〇
				二二、六六	二二、〇〇
				二二、六八	二二、〇〇
				二二、六八	二二、〇〇
				二二、七〇	二二、〇〇
				二二、七〇	二二、〇〇
				二二、七二	二二、〇〇
				二二、七二	二二、〇〇
				二二、七四	二二、〇〇
				二二、七四	二二、〇〇
				二二、七六	二二、〇〇
				二二、七六	二二、〇〇
				二二、七八	二二、〇〇
				二二、七八	二二、〇〇
				二二、八〇	二二、〇〇
				二二、八〇	二二、〇〇
				二二、八二	二二、〇〇
				二二、八二	二二、〇〇
				二二、八四	二二、〇〇
				二二、八四	二二、〇〇
				二二、八六	二二、〇〇
				二二、八六	二二、〇〇
				二二、八八	二二、〇〇
				二二、八八	二二、〇〇
				二二、九〇	二二、〇〇
				二二、九〇	二二、〇〇
				二二、九二	二二、〇〇
				二二、九二	二二、〇〇
				二二、九四	二二、〇〇
				二二、九四	二二、〇〇
				二二、九六	二二、〇〇
				二二、九六	二二、〇〇
				二二、九八	二二、〇〇
				二二、九八	二二、〇〇
				二二、一〇〇	二二、〇〇
				二二、一〇〇	二二、〇〇

○ 雜 款

○書類發送先
當隊本四月一日開隊致候條關係書類送付ニ關シ可然御取計ヲ得度

當隊所在地
高雄州岡山郡彌陀庄
岡山郵便局

(高雄海軍航空隊)

○ 辭 令

海軍技術會議議員海軍中佐 猪口 敏平
海軍艦政本部技術會議議員ヲ命ス(附海軍省)

○艦船所在

指[▲]印[▲]ハ[▲]ホ[▲]フ[▲]
定[▲]ラ[▲]裂[▲]セ[▲]ズ

○四月一日午前十時調

【横須賀】

對馬[▲]、愛宕[▲]、大鯨[▲]、夕張[▲]、鳳翔[▲]、山城、五十鈴、高雄、▽長門[▲]、嚴島、神威、多摩

▽八雲、磐手

澤風[▲]、□雷[▲]

呂六六[▲]

掃二[▲]

富士[▲]、尻矢[▲]、膠州[▲]

(飛龍)[▲]、(劍崎)[▲]、(高崎)[▲]

【長浦】□太刀風、夕風、□松風、春風、旗風、

□夏雲、山雲、帆風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七[▲]、呂五九[▲]、□呂五八、□伊二三、伊二四

□掃六、掃五

【石川島】

羽風[▲]

【横濱】

掃一[▲]、掃三[▲]、掃四[▲]

【浦賀】

秋風[▲]

【大湊】

□神風、沼風、波風、野風

【函館】

□若竹

【吳】 矢矧、韓崎、比叡[▲]、衣笠、青葉、長鯨[▲]

海軍公報(部内限) 第二千八百七十五號

昭和十三年四月一日

三三九

淀、加古、最上、天龍、▽大井、扶桑、夕顔、吳竹、早苗、□菊、葵、萩、□浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一[▲]、呂五三[▲]、呂二六、呂二七[▲]、呂二八、□呂三四、呂三三、伊五一[▲]、伊七一[▲]、□伊五三、伊五四、□伊五六、伊五七、伊五八、□伊七二、伊七三、伊五五

▽雉、鷲、鳩、雁

攝津、隠戸、室戸[▲]

(千歳)[▲]、(千代田)[▲]

古鷹[▲]

(峯雲)[▲]

呂六四[▲]

【神戸】 呂六四[▲]

【相生】 (伊八)[▲]、(伊七五)[▲]

常磐[▲]

石廊[▲]

朝風[▲]

【因ノ島】 朝風[▲]

【江田内】 平戸、淺間

【舞鶴】 吾妻[▲]、八重山

□初雪、白雪[▲]、吹雪[▲]、皐月

伊五二

(蔽)[▲]

【佐世保】 赤城[▲]、榛名、羽黑、那智、北上、▽名取、由良、足柄[▲]

梨▲竹▲榧▲桃▲柳▲檜▲重▲
朝風、
朝潮、滿潮、荒潮、陸月▲
潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂六〇▲
呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六四▲、呂六五▲

伊六五、伊六六、伊六七、伊二、
伊五九、伊六八▲

敷島▲、鶴見、佐多、知床、鳴戸、洲埼、
間宮

(伊七四)▲

【長崎】(利根)▲(筑摩)▲

【寺島水道】
陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、
鬼怒、
川内、迅鯨、鳥海、摩耶、
熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、
有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、
天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、叢雲、
東雲、
卯月

伊一、伊三、伊六、伊四、伊五、伊七、
伊六三、伊六〇、伊六一、伊六二、
伊六四、伊七〇、伊六九

【高雄】襟裳

【鎮海】
葦、榆、柿

【作業地】
出雲、龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、
白鷹、沖島、球磨、妙高、長良、
能登呂、勝力、加賀、蒼龍、春日、
駒橋、龍巖

栗、梅、蓮、櫻、電、曉、狹霧、漣、
薄、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、
夕月、望月、三日月、蓼、蓬、菱、島風、
灘風、沙風、如月、彌生、疾風、追風、
文月、水無月、長月、峯風、朝雲

伊二、伊三、
千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶴、鴨、鴻、
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、早鞆、野島

【航海中】
呂六三、呂六八 (三月三十一日鎮海發一佐世保へ)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百七十六號

昭和十三年四月二日(土)
海軍大臣官房

○ 通 牒

經豫第三號ノ四〇

昭和十三年四月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

外國旅費ノ節約及政府海外拂經費外國送金

ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省主計局長ヨリ通牒有之
候條了知相成度

(別紙)

計發秘第五號

昭和十三年三月二十六日

大藏省主計局長 谷口 恒二

海軍省經理局長 村上春一殿

外國旅費ノ節約及政府海外拂經費外國

送金ニ關スル件

曩ニ閣議ノ決定ヲ經タル外國旅費ノ節約方及政府海外
拂經費ノ外國送金方ニ關シテハ昭和十三年度豫算ニ於
テモ引續キ同一主旨ニ依リ實行相成ヘキ筈ニ付右了知
相成度爲念

(參照) 昭和十二年十月七日官房第五一一三號(部内限公報掲載)
同年十一月十日經豫第三號ノ三一(同 右)

○ 辭 令

海軍中佐 山岡 三子夫

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

海軍少佐 柴田 文三

海軍軍事普及部委員ヲ免ス(以上謂海軍省)

海軍主計特務中尉 岩間 甚枝

第三課勤務ヲ命ス(三課ハ海軍省經理局)

海軍主計大尉 山内 伸穂

交通船小鷹ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費

臨時分任出納官吏ヲ命ス

同右臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上三官海軍省經理局支出官)

海軍中佐 三浦 速雄(艦本)

同 山代 勝守(峯雲)

海軍少佐 橋本 逸夫(同)

海軍中尉 鈴木 真人(同)

(各通) 海軍機關中佐 富田 一郎(艦本監)

海軍機關少佐 松本 正彦(艦本)

同 佐久間 赴(峯雲)

海軍造船少佐 玉崎 坦(艦本監)

海軍技師 山内 正男(同)

驅逐艦峯雲審議委員ヲ命ス(以上謂海軍艦政本部)

海軍主計中佐 岩崎 健彦

總務部第二課勤務兼第一課勤務ヲ命ス(謂海軍航空本部)

(各通) 海軍機關少佐 跡部 保

同 磯 託 石原 戒造

總務部第一課勤務ヲ命ス

海軍機關中佐 佐伯 甚七

技術部第二課勤務ヲ命ス

同 渡邊 伊三郎

同 伴内 徳司

海軍造兵中佐 安本 武之助

同 渡 克巳

海軍造兵少佐 吉川 春夫

海軍技師 中村 忠夫

技術部第二課勤務ヲ命ス

海軍中佐 菅原 征雄

同 前田 孝成

同 岡 友三郎

海軍少佐 増田 正吾

同 小島 正巳

同 北村 喜三治

同 浦田 輝次郎

同 田村 榮次

海軍造兵中佐 戸塚 武比古

同 園田 又雄

海軍造兵少佐 平野 亮

同 横山 常市

海軍技師 江角 金市

技術部第三課勤務ヲ命ス	海軍機關中佐 鈴木 師	海軍航空特務中尉 深澤 友雄
(各通)	海軍技師 大谷 文太郎	海軍整備特務少尉 山本 義郎
技術部第一課勤務兼第二課勤務第三課勤務ヲ命ス	同 栗田 武	海軍整備兵曹長 土屋 亨
兼技術部第三課勤務ヲ命ス	海軍書記 矢部 泰明	海軍書記 青柳 近顯
技術部第三課附兼第一課附第二課附ヲ命ス	同 矢島 克巳	同 寺門 英
兼技術部第二課附ヲ命ス	海軍技手 渡邊 四郎	同 阿久澤 幸作
技術部第二課勤務ヲ命ス	在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	囑 託 吉村 智三郎
在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	同 關口 武夫	海軍書記 安田 一義
技術部第三課勤務ヲ命ス	主トシテ在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	海軍技手 川内 靄雄
同 藤脇 正美		海軍機關大佐 向坂 六郎
技術部第二課勤務ヲ命ス	主トシテ在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ	自今在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ
主トシテ在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ		自今在名古屋監督長ノ命ヲ受ケ服務スヘシ
		同 吉村 誠一郎
		海軍中佐 米澤 市太郎
		自今在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ <small>(田原地方 太田)</small>
		海軍大尉 西澤 慎六
		在名古屋監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ <small>(以上同)</small>

海軍公報(部内限) 第二千八百七十六號

昭和十三年四月二日

三四三

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第五艦隊司令長官ハ自四月十五日旗艦ヲ妙高ヨリ多摩ニ變更シ、司令部事務ハ神威ニ於テ執行ノ豫定

○ 特設運送船朝光丸行動豫定

地名	着	發
笠 戸		三月三十日
西 戸 崎		四月二日
鎮 南 浦	三月三十一日	四月九日
佐 世 保	四月四日	四月十三日
吳 生	四月十一日	四月十七日
相 須 賀	四月十八日	四月十九日
横 須 賀	四月二十日	四月二十六日
吳	四月二十八日	五月三日

○ 郵便物發送先

驅逐艦朝雲宛

自 今

横 須 賀

特務艦鶴見宛

自 今

聯合艦隊司令部ニ同ジ

○ 残務整理

吳鎮守府第一特別陸戰隊ノ残務整理ハ吳海兵團内ニ於テ之ヲ行フ

室戸病院ノ残務整理ハ吳海軍病院内ニ於テ之ヲ行フ
(但シ給與關係事項ハ特務艦室戸)

○艦船所在

▲印ハニハホフ
指定ヲ要セズ

○四月二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴、高雄、▽長門▲、嚴島、神威、多摩、春日

▽八雲、磐手

澤風▲、▽雷▲

呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】▽太刀風、夕風、▽松風、春風、旗風、

▽夏雲、山雲、朝雲、帆風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二三、伊二四

▽掃六、掃五

【石川島】

羽風▲

【横濱】掃一▲、掃三▲、掃四▲

【浦賀】

秋風▲

(霞)▲

【大湊】▽神風、沼風、波風、野風

【函館】▽若竹

【吳】▽矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲

淀、加古、最上、天龍、▽大井、扶桑、夕顔、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

▽雄、鷲、鳩、雁

攝津、隱戸、室戸▲

(千歳)▲(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

呂六四▲

【相生】

(伊八)▲(伊七五)▲

【因ノ島】

石廊▲

【江田内】

朝風▲

【舞鶴】

平戸、淺間

【佐世保】

吾妻▲、八重山

伊五二

(箆)▲

赤城▲、榛名、羽黑、那智、北上、▽名取、由良、足柄▲、▽神通、阿武隈、▽蒼龍、梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、莖▲、▽夕風、

海軍公報(部内限)第二千八百七十六號 昭和十三年四月二日

朝風、□若葉、初霜、子日、初春、□大潮、
 朝潮、滿潮、荒潮、□卯月、□文月、
 水無月、陸月▲、藤、□臘、曙、潮、□天霧、
 朝霧、夕霧、□白雲、薄雲、叢雲、東雲
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲
 呂六一▲、呂六二▲、呂六六七、呂六五、
 呂六三、呂六八、□伊六五、伊六六、
 伊六七、伊二、伊五九、伊六八▲
 敷島▲、佐多、鳴戸、洲崎、間宮
 (伊七四)▲

【長崎】(利根)▲(筑摩)▲

【寺島水道】□陸奥、伊勢、日向、□霧島、金剛、□那珂、
 鬼怒、□川内、□迅鯨

□夕立、五月雨、村雨、春雨、□白霧、時雨、
 有明、夕暮、□江風、山風、海風、涼風、
 □伊一、伊三、□伊六、伊四、伊五、伊七、
 □伊六三、伊六〇、□伊六一、伊六一、
 伊六四、□伊七〇、伊六九
 鶴見

【鎮海】□葦、楡、柿

【作業地】□出雲、□龍田、□安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
 堅田、比良、保津、熱海、二見、□木曾、
 白鷹、□沖島、□球磨、□妙高、□長良、
 □能登呂、勝力、□加賀、駒橋、龍巖

栗、梅、逆、櫻、電、□曉、狹霧、漣、
 □薄、葛、□芙蓉、朝顔、刈萱、□菊月、
 夕月、望月、三月月、□蓼、蓬、菱、□島風、
 灘風、沙風、如月、彌生、□疾風、追風、
 長月、峯風
 □伊二一、伊二二
 □千鳥、初雁、友鶴、真鶴、□鶴、鴨、鴻、
 隼
 □掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、早鞠、野島

【航海中】

伊五五 (一日吳發—廣島灣) ()
 襟裳 (一日高雄發—枋寮) ()
 知床 (一日佐世保發—高雄) ()
 □鳥海、摩耶、□熊野、三隈、鈴谷 (二日寺島水道
 發—佐世保) ()

(辭令公報添)

海軍公報 (部内限) 第二千八百七十七號

昭和十三年四月四日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一六一五號 昭和十三年四月一日

當分ノ間横須賀海軍建築部長ノ委任

建築部大湊出張所ニ於テ爲スベキ建築及土木工事ニ關

スル契約ハ同出張所首席職員ヲ以テ契約擔任官トス

昭和十三年四月一日

海軍大臣

官房第一六一六號

當分ノ間飛行長竝ニ整備長主管消耗兵器中各種乾電池

ハ艦船部隊ニ於テ直接購買スルコトヲ得

所要豫算ハ毎年度海軍航空本部長及海軍省經理局長ヲ

シテ通牒セシム

昭和六年五月三十日官房第一八一七號ハ之ヲ廢止ス

昭和十三年四月一日

海軍大臣



官房機密第一七八九號

昭和十二年官房機密第五〇三八號ニ依リ昭和十三年度

ニ於テ採用スベキ各種練習生ノ員數中左ノ通改正ス

昭和十三年四月四日

海軍大臣

表中高等科整備術ノ項ヲ左ノ如ク改ム

高等科	飛行機	一八〇	六〇	八〇	三二〇
整備術	計器	四〇	二〇	二〇	八〇

(昭和十二年十二月七日本欄参照)

要令提
要登載

官房機密第一七九〇號

海軍武官服役令第三條第一項第五號ノ規定ニ依リ當分

ノ間特務士官ヨリ任用セラレタル各科少佐ノ現役服役

期間ヲ年齡五十四年ニ達スル迄延長ス

昭和十三年四月四日

海軍大臣

官房第一六九九號

左記ニ依リ海軍砲術學校ニ於テ銃劍術及體操臨時講習ヲ施行ス

左記第三號ノ講習員ヲ派遣スベシ

追テ所屬長官ハ派遣員ノ官氏名ヲ四月十五日迄ニ報告スルト共ニ海軍砲術學校長ニ通報スベシ

昭和十三年四月四日

海軍大臣

記

一、講習ノ目的

各部ニ於ケル銃劍術及體操ノ實地指導者タルベキ下士官ニ銃劍術及體操ニ關スル技能ヲ修得セシムルニ在リ

二、講習期間

昭和十三年四月十八日ヨリ昭和十三年六月一日迄

三、講習員

銃劍術又ハ體操ニ長ズル下士官ニシテ昭和十一、十二年度本講習ニ參加セズ且昭和十四年十月迄現役滿期ト爲ラザルモノ、中ヨリ左ノ通選拔スルモノトス

横須賀鎮守府

吳鎮守府

八名

八名

佐世保鎮守府

舞鶴要港部

大湊要港部

海軍兵學校

海軍機關學校

海軍經理學校

四、旅費

横須賀以外ノ地ヨリ派遣ノ講習員ニ對スル旅費ハ講習開始ノ前日横須賀着、講習終了當日出發トシ請求ヲ俟テ別途配付ス但シ講習中ハ校内ニ起臥セシメ糧食ヲ給シ日當一日二十錢ヲ支給ス

五、雜件

講習ニ必要ナル要具ハ海軍砲術學校ニ於テ準備スルモノトス

○通牒

官房機密第一七九一號

昭和十三年四月四日

海軍省副官

關係各廳長殿

横濱、上海及青島間軍事航空郵便取扱
開始ノ件通牒

左記ニ依リ横濱、上海及青島間ニ三月二十三日ヨリ軍事航空郵便（横濱海軍航空隊ニ於テ實施ノ軍用定期航空ニ依リ輸送）ヲ取扱フコトト相成候條了知相成度

記

一、取扱郵便物 揚子江方面艦船部隊及青島方面艦船部隊軍事航空郵便物

二、交換局 横濱郵便局

三、本軍事航空郵便物ニハ「横濱郵便局經由」ト冠記シ表記ハ左ノ通トス

(一) 上海方面 第一海軍軍用郵便所氣付軍艦何々々

ハ上海海軍特別陸戰隊等

(二) 青島方面 第三海軍軍用郵便所氣付軍艦何々々

ハ兵部隊等

○ 雜 款

○ 旗艦指定
横須賀防備戰隊司令官ハ四月一日旗艦ヲ嚴島ニ指定セ

○ 將旗復歸
第二潜水戰隊司令官ハ四月一日伊號第六十三潜水艦ヨリ阿武隈ニ將旗ヲ復歸セリ

○ 司令驅逐艦變更
第二十七驅逐隊司令官ハ四月三日司令驅逐艦ヲ一時蓼ヨリ菱ニ變更セリ

○ 郵便物發送先
驅逐艦早苗宛
四月 八 日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
同 十二日迄ニ 同 横 須 賀
其ノ後ハ 大 湊

特設病院船朝日丸宛
當分ノ間 神戸市 兵庫郵便局氣付

○ 懲罰
懲罰特免告達書

海軍公報（部内限）第二千八百七十七號 昭和十三年四月四日

三四九

1804

海軍公報(部内限) 第二千八百七十七號

昭和十三年四月四日

三五〇

○艦船所在

△印ハハハホホフ
指定ヲ要セズ

○四月二日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、大鯨△、夕張△、鳳翔△、山城、五十鈴、高雄、▷長門△、嚴島、神威、春日

▷八雲、磐手

澤風△、□雷△

呂六六△

掃二△

富士△、尻矢△、膠州△

(飛龍)△(劍橋)△(高崎)△

【長浦】▷太刀風、夕風、□松風、春風、旗風、

▷夏雲、山雲、朝雲、帆風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五九△、□呂五八、□伊二三、伊二四

□掃六、掃五

【石川島】

羽風△

【横濱】

掃一△、掃三△、掃四△

【浦賀】

秋風△

【大湊】▷神風、沼風、波風、野風

大泊

【函館】▷若竹

【吳】▷矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△

淀、加古、最上、天龍、▷大井、扶桑、夕顔、吳竹、早苗、□菊、葵、萩、□浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、□呂三四、呂三三、伊五一△

伊七一△、□伊五三、伊五四、□伊五六、伊五七、伊五八、□伊七二、伊七三、伊五五

▷雉、鷲、鳩、雁

攝津、隱戶、室戶△

(千歲)△(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

【大阪】

呂六四△

【神戸】

(伊八)△(伊七五)△

常磐△

石廊△

【相生】

朝風△

【因ノ島】

平戸、淺間

【江田内】

吾妻△、八重山

【舞鶴】

▷初雪、白雪△、吹雪△、皐月

伊五二

(笹)△

【佐世保】

赤城△、榛名、羽黑、那智、北上、▷名取、由良、足柄△、龍驤、□鳥海、摩耶、▷熊野、

三限、鈴谷、▽神通、阿武隈、▽蒼龍
 梨△竹△榎△桃△柳△檜△重△
 朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽大潮、
 滿潮、朝潮、荒潮、▽文月、水無月、長月、
 峯風、▽卯月、睦月△彌生、如月、▽臘、
 曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、
 薄雲、叢雲、東雲
 呂三〇△、呂三一△、呂三二△、呂六〇△、
 呂六一△、呂六二△、▽呂六七、呂六五、
 呂六三、呂六八、▽伊六五、伊六六、
 伊六七、伊二、伊五九、伊六八△
 敷島△、佐多、鳴戸、間宮
 (伊七四)△
 【長崎】(利根)△、(筑摩)△
 【寺島水道】▽陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、
 鬼怒、▽川内、▽迅鯨
 ▽夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、
 有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、
 ▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五、伊七、
 △伊六三、伊六〇、▽伊六一、伊六二、
 伊六四、▽伊七〇、伊六九
 鶴見
 【鏡海】▽葦、楡、柿
 【作業地】▽出雲、▽龍田、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

【航海中】
 知床 (一日佐世保發—高雄)
 堅田、比良、保津、熱海、二見、▽木曾、
 白鷹、▽沖島、多摩、▽球磨、▽妙高、
 ▽長良、▽能登呂、勝力、▽加賀、駒橋
 栗、梅、逆、響、電、▽曉、狹霧、漣、
 ▽薄、藤、葛、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、
 夕月、望月、三月月、▽菱、蓼、蓬、▽島風、
 灘風、沙風、▽疾風、追風
 ▽伊二一、伊二二
 ▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、▽鶴、鴨、鴻、
 隼
 ▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、早鞆、野島、襟裳、洲崎

海軍公報 (部内限) 第二千八百七十八號

昭和十三年四月五日(火)
海軍大臣官房

○令 達

官房第一六一九號

海軍共済組合ノ業務ニ服シ同組合ノ經費ヲ以テ處辨スル海軍囑託者、雇員及傭人ニ對シテハ別ニ規定アルモノノ外左ノ増給ヲ支給スルコトヲ得

昭和十三年四月一日

海 軍 大 臣

- 一 往診シタルトキハ第一表ニ依ル往診増給
- 二 派出セラレタルトキハ第二表ニ依ル派出増給
- 三 傳染病及肺癆科患者ノ看護ニ従事シタルトキ又ハ危険ナル細菌的検査傳染病汚物若ハX光線ノ取扱ニ従事シタルトキハ第三表ニ依ル不健康業務増給

第一表

往診増給

晝	間	夜	間
三十錢以内	一回以内		

備考 主任醫員往診シタルトキハ五割以内増給スルコトヲ得

第二表

派出増給

一回ニ付	五十錢以内
------	-------

第三表

不健康業務増給

一日ニ付	十錢以内
------	------

官房機密第一八一七號

昭和十三年四月五日

海 軍 大 臣

内令提
要登載

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件改正ノ件訓令

昭和十二年官房機密第四九三八號別表中左ノ通改正ス
海軍潜水學校ノ項中「第十一水雷隊」ヲ「雉、鳩」ニ

海軍公報(部内限) 第二千八百七十八號

昭和十三年四月五日

三五三

改ム

(昭和十二年十二月二日本欄参照)

○通牒

經豫第三號ノ四一

昭和十三年四月一日

海軍省經理局長

各支出官殿

艦艇製造費細節ニ關スル件通牒

艦艇製造費細節ノ豫算決算ニ關シテハ昭和十三年度以降左記ノ通定メラレ候條了知相成度

記

一 支拂豫算ノ請求及令示ハ目迄トスルコト

二 支出明細簿ニハ艦別及附屬費ノ口座ヲモ設ケ共ノ支出額ヲ登記スルコト

三 支出報告書ニハ艦別及附屬費ノ支出額ヲ記載スルコト

○辭令

海軍中佐 遠藤 實

東京軍法會議判士ヲ免ス
同 松浦 義
東京軍法會議判士ヲ命ス(以上附海軍省)

○雜款

○郵便物發送先
第四水雷戰隊各艦(雷缺)宛
四月十二日迄ニ到達見込ノモノハ
共ノ後ハ
上 海
横 須
賀

○艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○四月五日午前十時調

【横須賀】 對馬△、愛宕△、大鯨△、夕張△、鳳翔△、
山城、五十鈴、▽長門△、▽巖島、春日、
▽八雲、磐手

▽八雲、磐手

澤風△、▽雷△

呂六六△

掃二△

富士△、尻矢△、膠州△

(飛龍)△、(劍埼)△、(高崎)△

【長浦】 大刀風、夕風、▽松風、春風、旗風、
▽夏雲、山雲、朝雲、帆風、沖風

▽夏雲、山雲、朝雲、帆風、沖風

呂五四△、呂五五△、呂五六△、呂五七△、
呂五九△、▽呂五八、▽伊二三

▽呂五八、▽伊二三

▽掃六、掃五

【石川島】 羽風△

【横濱】 掃一△、掃三△、掃四△

【浦賀】 秋風△

(霞)△

【大湊】 神風、沼風、波風、野風

大泊

【函館】 若竹

【吳】 矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△、
淀、加古、最上、天龍、▽大井、扶桑

夕顔、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽浦波、
磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一△、呂五三△、呂二六△、呂二七△、
呂二八△、▽呂三四、呂三三△、伊五一△、
伊七一△、▽伊五三、伊五四△、▽伊五六△、
伊五七△、伊五八△、▽伊七二、伊七三△、
伊五五

▽雄、鷲、鳩、雁

攝津、室戸△

(千歳)△、(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

呂六四△

(伊八)△、(伊七五)△

常磐△

石廊△

朝風△

平戸、淺間

吾妻△、八重山

▽初雪、白雪△、吹雪△、皐月

(敷)△

赤城△、榛名、那智、北上、▽名取、由良、
足柄△、龍驤、▽島海、摩耶、▽熊野、三隈、
鈴谷、▽神通、阿武隈、▽蒼龍

海軍公報(部内限) 第二千八百七十八號 昭和十三年四月五日

梨、竹、榎、桃、柳、檜、草、夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、大潮、滿潮、朝潮、荒潮、峯風、卯月、陸月、彌生、如月、朧、曙、湖、天霧、朝霧、夕霧、白雲、薄雲、發雲、東雲、呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、伊六五、伊六六、伊六七、伊三、伊五九、伊六八、敷島、佐多、鳴戸、間宮、(伊七四)

【長崎】(利根) (筑摩)

【寺島水道】陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、鬼怒、川内、迅鯨

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、伊一、伊六、伊四、伊五、伊七、伊六三、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊七〇、伊六九

【串木野】

羽黒

【嚴原】

檜

【鎮海】葦、柿、堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾

【作業地】

龍田、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾

【航海中】

知床 (一日佐世保發—高雄)
 文月、水無月、長月 (四日佐世保發)
 呂六三、呂六八 (四日佐世保發—港外)
 伊二四 (四日長浦發—相模灘)
 隠戸 (四日吳發—徳山)
 高雄 (五日横須賀發—横濱)

白鷹、沖島、多摩、球磨、妙高、長良、神威、能登呂、勝力、加賀、駒橋、栗、梅、連、櫻、電、曉、狹霧、漣、薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三日月、菱、蓼、蓬、島風、灘風、汐風、疾風、追風、伊二一、伊二二、伊二、伊三、千島、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴻、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、朝日、早鞆、野島、襟裳、洲崎

(辭令公報添)



(限 内)

海軍公報 (部内限) 第二千八百七十九號

昭和十三年四月六日(水)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房第一五六二號 昭和十三年三月三十一日

各應契約擔任官ハ當分ノ問左ニ掲グルモノノ購買、製造又ハ工事ノ請負ニ付前金拂又ハ概算拂ノ契約ヲ爲スコトヲ得但シ概算拂ノ契約ヲ爲シ得ルハ第一號乃至第四號ニ掲グルモノニ限ル
實施要領ニ關シテハ海軍省經理局長ヲシテ之ヲ定メシム

昭和十三年三月三十一日

海軍大臣

- 一 艦船、兵器及其ノ材料又ハ原料
- 二 被服、糧食及其ノ材料又ハ原料
- 三 作業用器具機械及其ノ材料
- 四 艦營需品及港用品
- 五 應中用以外ノ燃料及潤滑油
- 六 建築材料

七 土木建築工事

附 則

昭和十二年官房第三七七號ハ之ヲ廢止ス

官房第一六〇四號

當分ノ問海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ第三驅逐隊所屬驅逐艦若竹ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲同隊附主計科士官ヲ資金前渡官吏トス

昭和十三年四月一日

海軍大臣

官房第二六〇四號ノ二

第三十驅逐隊分離行動中海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ驅逐艦陸月及卯月ノ給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲同隊附主計科士官ヲ資金前渡官吏トス

昭和十三年四月一日

海軍大臣

海軍公報 (部内限) 第二千八百七十九號

昭和十三年四月六日

官房機密第一八三七號

昭和十三年四月六日

海軍大臣

各鎮守府司令長官
舞鶴要港部司令官
兵器簿ノ件通達
艦船、部隊學校兵器簿中左ノ通改正ス

主管別	部	類	○印消 耗品	兵器名稱	數稱	常用數	指定	記	事
航海長主管	高層氣象兵器之部		○	提燈	個		削除	數ヲ削除	
同	同		○	蠟	個		削除	數ヲ削除	
同	同		○	九七式測風電燈	個	三〇	追加	品名數量追加	

○通牒

經物第一〇六號 昭和十七年經物第一三五號
ニテ本號廢止

本年官房第一五六二號ニ依ル前金拂又ハ概算拂ノ契約
實施要領左ノ通定ム

昭和十三年三月三十一日

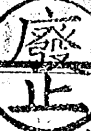
海軍省經理局長

前金拂又ハ概算拂ノ契約實施要領

第一 前金拂又ハ概算拂ノ契約ヲ爲シ得ル相手方ハ在
外造船造兵監督官契約及官公署トノ契約ノ外左ニ掲

グルモノトス

- 一 海軍購買名簿登録者
 - 二 工業組合及産業組合
 - 三 海軍管理工場、陸軍管理工場
 - 四 其ノ他資産信用鞏固ニシテ技術經驗ニ富ム者
- 前項第四號ノモノニ付テハ契約擔任官ハ其ノ資産、
經歷、既往ノ成績等ヲ具シ豫メ所管經理部長ヲ經テ
承認ヲ受クルモノトス
- 第二 前金拂又ハ概算拂ヲ爲シ得ルハ金額參千圓以上
ノ契約トス但シ金額參千圓未滿ノ契約ニシテ特ニ前



經物第一〇六號 昭和十七年經物第一三五號
ニテ本號廢止

昭和十三年三月三十一日

海軍省經理局長

前金拂又ハ概算拂ノ契約實施要領

第一 前金拂又ハ概算拂ノ契約ヲ爲シ得ル相手方ハ在
外造船造兵監督官契約及官公署トノ契約ノ外左ニ掲

- 一 海軍購買名簿登録者
 - 二 工業組合及産業組合
 - 三 海軍管理工場、陸軍管理工場
 - 四 其ノ他資産信用鞏固ニシテ技術經驗ニ富ム者
- 前項第四號ノモノニ付テハ契約擔任官ハ其ノ資産、
經歷、既往ノ成績等ヲ具シ豫メ所管經理部長ヲ經テ
承認ヲ受クルモノトス
- 第二 前金拂又ハ概算拂ヲ爲シ得ルハ金額參千圓以上
ノ契約トス但シ金額參千圓未滿ノ契約ニシテ特ニ前

金拂又ハ概算拂ノ必要アル場合ハ所管經理部長ノ承認ヲ受クルモノトス

第三 前金拂又ハ概算拂ヲ爲シ得ル金額ハ契約代價(概算拂ニ在リテハ豫定價格)ノ四分ノ三以内トス

第四 概算拂ヲ爲シ得ル契約ハ左ニ掲グル場合ニ限ルモノトス

- 一 製造又ハ工事請負契約中其ノ一部ヲ官ニ於テ受託シ其ノ費用ヲ契約代價ヨリ控除スル場合受託品ノ決算未了ノ爲契約代價ノ支拂遅延スル場合
- 二 急速調達ヲ要スルモ試製品等ニシテ代價ノ決定困難ナル爲一應豫定價格ヲ以テ契約シ之ガ確定代價ヲ別ニ協定スル場合但シ此ノ場合ニ在リテハ所管經理部長ノ承認ヲ受クルモノトス
- 三 其ノ他特ニ概算拂ノ契約ヲ必要トスル場合但シ此ノ場合ニ在リテハ所管經理部長ヲ經テ承認ヲ受クルモノトス

昭和十二年經契規第二二號及經契規第二五號ハ自然消滅トス (第)

經豫第三號ノ四三

昭和十三年四月六日

海軍省 經理局長

各支出官殿

外國貨幣換算價格ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通牒次官ヨリ通牒有之候

記

藏理第五〇一號

昭和十三年三月三十一日

海軍次官 山本五十六殿

大藏次官 石渡 莊太郎

支出官事務規程第二十條ノ規定ニ依ル金貨國貨幣以外ノ外國貨幣換算價格昭和十三年度分別紙ノ通り定メラレ候ニ付此段依命及通牒候也

追テ支出官事務規程第二十條ニ依リ外國貨幣ヲ基礎トスル金額支拂ノ爲振出ス小切手ト雖時價相場ニ依リ換算價格ヲ定ムルモノニ付テハ別紙換算率ハ關係ナキコト昭和九年五月十日附藏理第三四八號追書ト同趣旨ニ付爲念申添候也

(別紙)

國名	元名	稱	單位	換算價格
中華民國	元	(上海)	圓	一〇四三

換算率

海軍公報(部内限) 第三千八百七十九號 昭和十三年四月六日

伯刺西爾	紙幣ミルレス	〇三三一
亞爾然丁	紙幣ペソ	〇八五二
墨西哥	紙幣ソ	〇九五二
滿洲國	紙幣圓	一〇〇〇

備考

中華民國臨時政府ニ於テ制定セル新國幣圓ハ日本圓ト等價トセルヲ以テ右換算率中ニ追加ス

(參照) 海軍會計法規集上卷二五〇頁ノ五

○ 辭令

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(謂ハ海軍省) 陸軍歩兵少尉 大田 貞助

(各通)

勳六等 高野 忠雄
勳七等 市川 倫

佐藤 政吉
增田 長
金森 三郎
横田 忠

北支海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官 待遇トス(謂ハ同)

海軍主計兵曹長 増 永 茂
驅逐艦陸月、卯月ニ要スル經費支拂ノ爲艦隊經費分
任出納官吏ヲ命ス(謂ハ海軍省經理局支出官)

○ 雜款

○將旗移揚
佐世保警備戰隊司令官ハ四月四日將旗ヲ一時名取ヨリ
羽黒ニ移揚セリ

○司令潜水艦變更
第九潜水隊司令ハ四月一日司令潜水艦ヲ伊號第二十三
潜水艦ヨリ伊號第二十四潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先
第十一水雷隊(雁、鷺)宛
自今 佐世保郵便局氣付

○ 艦船所在

▲印ハ「ヘホ」ヲ指定ス

○四月六日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴、▽長門▲、▽嚴島、春日、

▽八雲、磐手

澤風▲、▽雷▲

呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

太刀風、夕風、▽松風、春風、旗風、▽夏雲、山雲、朝雲、帆風、沖風、

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、

呂五九▲、▽呂五八、▽伊二四、伊二三

▽掃六、掃五

石川島

羽風▲

横濱 ▲ 高雄

掃一▲、掃三▲、掃四▲

浦賀

秋風▲ (霞)▲

大湊 ▲ 神風、沼風、波風、野風

大泊

函館 ▲ 若竹

【吳】 ▲ 矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲

淀、加古、最上、天龍、▽大井、扶桑、夕顔、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、▽呂三四、呂三三、伊五一▲

伊七一▲、▽伊五三、伊五四、▽伊五六、

伊五七、伊五八、▽伊七二、伊七三、

伊五五

攝津、室戸▲

(千歳)▲(千代田)▲

古鷹▲

【大阪】 ▲(峯雲)▲

呂六四▲

【神戸】 ▲(伊八)▲(伊七五)▲

常磐▲

【相生】 ▲石廊▲

【因ノ島】 ▲朝風▲

【江田内】 ▲平戸、淺間

【徳山】 ▲隠戸

【舞鶴】 ▲吾妻▲、八重山

▽初雪▲、白雪▲、吹雪▲

伊五二

(蔽)▲

【佐世保】 ▲赤城▲、榛名、那智、北上、名取、山良、

足柄▲、▽島海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、

▽神通、阿武隈、▽蒼龍
 梨△竹△榎△桃△柳△檜△葦△草△夕風、
 朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽大潮、
 滿潮、朝潮、荒潮、峯風、▽卯月、陸月、
 彌生、如月、▽朧、曙、潮、▽天霧、朝霧、
 夕霧、▽白雲、薄雲、叢雲、東雲
 呂三〇△呂三一△呂三二△呂六〇△
 呂六一△呂六二△呂六七△呂六五、
 呂六三、呂六八、▽伊六五、伊六六、
 伊六七、伊二、伊三、伊五九、伊六八、
 敷島△佐多△鳴戸
 (伊七四)△

【長崎】(利根)△(筑摩)△
 【寺島水道】▽陸奥、伊勢、日向、▽露島、金剛、▽那珂、
 鬼怒、▽川内、▽迅鯨
 ▽夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、
 有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、
 ▽伊一、▽伊六、伊四、伊五、伊七、
 ▽伊六三、伊六〇、▽伊六一、伊六二、
 伊六四、▽伊七〇、伊六九
 鶴見、間宮

【鹿児島】▽羽黒
 【嚴原】檜
 【高雄】知床
 【鎮海】▽葦、栂

【作業地】▽出雲、▽龍田、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
 堅田、比良、保津、熱海、二見、▽木曾、
 白鷹、▽沖島、多摩、▽球磨、▽妙高、
 ▽長良、神威、▽能登呂、勝力、▽加賀、
 駒橋、龍驤
 栗、梅、蓮、櫻、電、▽曉、狹霧、漣、
 ▽薄、藤、葛、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、
 夕月、望月、三月月、▽菱、蓼、蓬、▽島風、
 灘風、沙風、▽疾風、追風
 ▽伊二一、伊二二
 ▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、▽鶴、鴨、鴻、
 雉、▽雉、鷺、鳩、雁
 ▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、早靨、野島、襟裳、洲埼

【航海中】
 ▽文月、水無月、長月 (四日佐世保發)
 皐月 (五日舞鶴發—港外へ)

(辭令公報添)

1817

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第二千八百八十號

海軍大臣官房

昭和十三年四月七日(木)

○通 牒

官房機密第一八六二號

昭和十三年四月七日

海軍省 副官

關係各廳長殿

「シベリア」經由郵便物ノ制限ニ

關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通照會有之候條御了知相成度

(別紙)

外郵第一一六四號

昭和十三年四月二日

遞 信 次 官

海軍次官殿

「シベリア」經由郵便物ノ制限ニ

關スル件

關係ノ向ヨリ協議ノ次第モ有之候ニ付テハ「シベリア」

海軍公報 (部内限) 第二千八百八十號 昭和十三年四月七日

三六三

經由郵便物ニ依ル機密漏洩防止ノ爲自今貴省御差出ニ係ル右郵便物ニハ事變關係ノ通信ヲ記載セラレサル様致度若シ之カ記載ヲ必要トスル歐洲等宛郵便物ニハ其ノ表面ニ「米國經由」又ハ「カナダ經由」等「シベリア」以外ノ線路ノ指定ヲ必ス記載シテ御差出相成度尙海軍關係者ノ家庭ニ對シテモ右様勵行セシムルヲ緊要ト被認候ニ付テハ右周知方御配意相煩度此段及照會候

軍需機密燃第五八號

昭和十三年四月六日

海軍省軍需局長

各艦隊
各鎮守府
各要港部
參謀長殿

航空礦油使用區分中改正ノ件通牒

昭和十一年軍需機密燃第一三九號通牒中左ノ通改メラレ候

「九七式飛行艇用光發動機二型」ノ次ニ
「光發動機 三型」ヲ加フ

○ 辭令

海軍航空豫備學生採用試験委員ヲ命ス

海軍中佐 藤田 元成
海軍少佐 島 忠三郎

海軍機關中佐 田尻 福男

同 篠崎 磯次

同 山田 雁男

同 山田 慈郎

海軍機關少佐 藤井 貢男

海軍機關大尉 藤岡 勇雄

海軍軍醫中佐 金井 泉

同 三宅 正一

同 小林 滿男

同 櫻井 得一

同 吉田 武尙

同 大田川 肇

同 加藤 靜市

海軍軍醫少佐 中村 博郷

(各通)

昭和十三年整備科海軍航空豫備學生採用試験臨時委
ヲ命ス(附海軍省) 同 村上 三郎

(各通)

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス(附同) 同 海軍大佐 長谷部 喜藏
同 竹内 平七

○ 雜款

○將旗移揚
横須賀警備戰隊司令官ハ四月六日將旗ヲ長門ヨリ朝雲
ニ移揚セリ

横須賀防備戰隊司令官ハ自四月六日ハ川將旗ヲ一時夏島
ニ移揚ス

○司令驅逐艦變更
第二十七驅逐隊司令ハ四月六日司令驅逐艦ヲ菱ヨリ蓼
ニ變更セリ

第三十驅逐隊司令ハ四月六日司令驅逐艦ヲ卯月ヨリ陸
月ニ變更セリ

○第四十一驅逐隊行動豫定
地 名 着

發

<p>横須賀 四月九日 室蘭 四月十一日 横須賀 十四日 横須賀 十二月</p>	<p>○軍艦高雄行動豫定 地名 着 發 横須賀 四月五日 横須賀 四月五日 横須賀 二十日</p>	<p>○郵便物發送先 第三十驅逐隊(彌生、如月)、軍醫長、主計長宛 當分ノ間 佐世保</p>	<p>第四十一驅逐隊宛 自四月九日到達見込ノモノハ 横須賀郵便局留置 至同十四日到達見込ノモノハ</p>	<p>軍艦高雄宛 四月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 横濱市神奈川區 鶴見製鐵造船株式會社淺野造船所 其ノ後ハ 横須賀 (註) 横須賀鎮守府文書交換所へ毎日二回公用使 ヲ派遣ス</p>	<p>軍艦龍驤宛 四月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳</p>
<p>同 二十二日迄ニ同 其ノ後ハ 第二艦隊ニ同シ 佐世保</p>	<p>特務艦室戸宛 四月十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳 其ノ後ハ 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)</p>	<p>○訂正 三月十七日辭令欄中徳山市長本城嘉守ノ辭令文ハ衍 同月二十五日同欄三〇八頁上段氣象臺技手比嘉政雄以 下四名ノ辭令日附「三月二十五日」ヲ「一月十七日」 ニ訂正ス</p>	<p>海軍公報(部内限)第二千八百八十號 昭和十三年四月七日 三六五</p>		

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○四月七日午前十時調

【横須賀】

對馬、愛宕、大鯨、夕張、鳳翔、山城、五十鈴、長門、嚴島、春日、澤風、雷

呂六六

掃二

富士、尻矢、膠州

(飛龍)、(劍崎)、(高崎)

【長浦】

太刀風、夕風、松風、春風、旗風、夏雲、山雲、朝雲、帆風、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九

伊二四、伊二三

掃六、掃五

【石川島】

羽風

高雄

掃一、掃三、掃四

【浦賀】

秋風

(霞)

【大湊】

神風、沼風、波風、野風

大泊

【函館】

若竹

矢矧、韓崎、比叡、衣笠、青葉、長鯨、淀、加古、最上、天龍、大井、扶桑

龍驤

夕顔、吳竹、早苗、菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、呂三四、呂三三、伊五一、伊七一、伊五三、伊五四、伊五六、伊五七、伊五八、伊七二、伊七三、伊五五

雌、鳩

攝津、室戸

(千歲)、(千代田)

古鷹

(峯雲)

呂六四

伊八、伊七五

常磐

石廊

朝風

平戸、淺間

吾妻、八重山

初雪、白雪、吹雪、皐月

(蔽)

赤城、榛名、那智、北上、名取、由良、足柄

梨、竹、樞、桃、柳、檜、葦、夕風

佐世保

因ノ島

江田内

舞鶴

相生

大阪

神戶

相生

因ノ島

江田内

舞鶴

佐世保

赤城

榛名

那智

北上

名取

海軍公報(部内限)第二千八百八十號

昭和十三年四月六日

朝風、□若葉、初霜、子日、初春、□大潮、
 滿潮、朝潮、荒潮、峯風、彌生、如月、
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三六、
 呂六一、呂六二、呂六七、呂六五、
 呂六三、呂六八、□伊六五、伊六六、
 伊六七、伊二、伊三、
 敷島、佐多

【長崎】(利根) (筑摩)

【寺島水道】□陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、
 鬼怒、▽川内、▽迅鯨、□鳥海、摩耶、
 ▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、▽若龍、
 □夕立、五月雨、村雨、春雨、□白露、時雨、
 有明、夕暮、□江風、山風、海風、涼風、
 □睦月、卯月、□朧、曙、潮、□天霧、朝霧、
 夕霧、□白雲、薄雲、叢雲、東雲、
 □伊一、□伊六、伊四、伊五、伊七、
 □伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六一、
 伊六二、伊六四、□伊七〇、伊六八、
 伊六九
 鶴見、間宮、鳴戸

【鹿兒島】▽羽黒
 【高雄】知床
 【鎮海】□葦、柿、楡
 【作業地】□出雲、▽龍田、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、▽木曾、
 白鷺、□沖島、多摩、▽球磨、□妙高、
 ▽長良、神威、▽能登呂、勝力、▽加賀、
 駒橋
 栗、梅、蓮、響、電、□曉、狹霧、漣、
 □薄、藤、鳶、□芙蓉、朝顔、刈萱、□菊月、
 夕月、望月、三月月、□蓼、菱、蓬、□島風、
 灘風、沙風、□疾風、追風

□伊二一、伊三二
 ▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、□鶺鴒、鴨、鴻、
 雉、鷺、雁
 □掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、早柄、野島、襟裳、洲崎

【航海中】
 □文月、水無月、長月 (四日佐世保發)
 ▽八雲、磐手 (六日横須賀發—神社)
 伊五二 (六日舞鶴發—港外)
 隱戸 (六日徳山發—横須賀)

(號外添)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年四月七日(木)
海軍大臣官房

○通牒

經契第三號ノ一七八三

昭和十二年十二月一日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

海軍航空發動機用氣筒粗材購買合併契

約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通日本特殊鋼株式會社、株式會社大同電氣製鋼所、株式會社日立製作所ト契約締結致候條左記ニ依リ處理相成度

記

契 約 書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ海軍航空發動機用氣筒粗材(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和十二年十二月一日ヨリ昭和十三年三月末日迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ日本特殊鋼株式會社取締役社長大河原

海軍公報 (部内限) 號外

榮之助、株式會社大同電氣製鋼所取締役社長下出義雄、株式會社日立製作所(安來製鋼所)取締役社長小平浪平並ニ株式會社日本製鋼所取締役社長杉政人(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ハ昭和十二年十二月一日以降昭和十三年三月末日ニ至ル間ニ於ケル海軍省經理局、海軍航空廠、佐世保海軍工廠並ニ廣海軍工廠(以下丙ト稱ス)ノ註文ニ依リ本品ヲ供給スルモノトス

第二條 本品單價ハ別表ノ通ニシテ納入地(内地ニ限ル)迄ノ運賃其ノ他納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス

特殊ノモノニシテ別表單價ニ依リ難キモノアルトキハ其ノ都度丙ガ直接契約スルモノトス

第三條 本品ハ海軍造船兵主要材料試驗検査規則航空機ノ部第三章所定ノ規格ニ適合スルヲ要ス

第四條 丙ハ本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品名、數量、納期、納入場所其ノ他必要事項ヲ記載

シタル註文書(様式甲)二通ヲ作製シ一通ヲ直接
乙ニ他ノ一通ヲ監督官ニ送付スルモノトス
但シ納期ハ註文書乙ニ到達後凡ソ一箇月以上ノ餘
裕アル如ク取計フモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ購買番
號、單價、代價、其ノ他必要ナル事項ヲ記載セル
明細書ヲ附シタル承諾書(様式乙)ヲ監督官ヲ經
テ丙ニ提出スルモノトス

第六條 乙ハ供給スヘキ本品ノ製造工事ニ就テハ總テ
海軍監督官ノ監督検査ヲ受クルモノトス
前項ノ場合丙ハ監督検査委託ノ手續ヲ要セサルモ
ノトス

第七條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要
ト認ムル検査ヲ行ヒ之カ引渡ヲ受クルモノトス

第八條 本品引渡後一箇年以内ニ有害ナリト認ムル瑕
疵ヲ發見シタルトキハ乙ハ丙ノ要求ニ依リ其ノ指
定期限内ニ無償ニテ之カ引換ヘ又ハ修理ヲ爲スモ
ノトス

第九條 乙ハ契約締結後直ニ契約金額ノ三分ノ二以内
ノ前金拂ヲ甲又ハ丙ニ請求スルコトヲ得

第十條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書

ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノト
ス
分割納入ノ場合ニ在リテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提
出スルモノトス

第十一條 官ニ納入シタル本品代價ハ前條ニ依リ代金
請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂
フモノトス

第十二條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ
本契約ニ因リテ生スル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ
讓渡セサルモノトス

第十三條 甲ハ必要ト認ムル場合ニハ甲ノ指定スル官
吏ヲシテ本品ノ原價ヲ調査セシムルコトアルヘシ
此ノ場合乙ハ官ニ於テ必要ト認ムル資料ヲ提出ス
ルモノトス

第十四條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守
スルノ義務アルモノトス

第十五條 本契約ニ定ムルモノノ外ハ海軍契約規程並
ニ海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲本書二通ヲ作り各自記名捺印シテ各
共ノ一通ヲ保有ス

昭和十二年十二月一日

海軍省經理局長 村上春一

東京市大森區大森一丁目 六千四百七十五番地

日本特殊鋼株式會社

取締役社長 大河原榮之助

名古屋市南區東築地三十一番地

株式會社大同電氣製鋼所

取締役社長 下出義雄

東京市麴町區丸ノ内二丁目十二番地

株式會社日立製作所(安來製鋼所)

取締役社長 小平浪平

東京市麴町區丸ノ内一丁目二番地

株式會社日本製鋼所

取締役社長 杉政人

(別紙様式二葉添)

(別表三葉添)

經契第三號ノ一七八四

昭和十二年十二月一日

海軍省經理局長

海軍公報(部内限) 號外

關係各廳長殿

海軍航空發動機用曲軸軸粗材購買合併

契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通日本特殊鋼株式會社株式會社大同電氣製鋼所ト契約締結致候條左記ニ依リ處理相成度

契約書

記

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ海軍航空發動機用曲軸軸粗材(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭和十二年十二月一日ヨリ昭和十三年三月末日迄ニ註文スルモノノ供給ニ關シ日本特殊鋼株式會社取締役社長大河原榮之助、株式會社大同電氣製鋼所取締役社長下出義雄、(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ。

第一條 乙ハ昭和十二年十二月一日以降昭和十三年三月

月末日ニ至ル間ニ於ケル海軍省經理局、海軍航空

廠、佐世保海軍工廠並ニ廣海軍工廠(以下丙ト稱

ス)ノ註文ニ依リ本品ヲ供給スルモノトス

第二條 本品單價ハ別表ノ通ニシテ納入地(内地ニ限

ル)迄ノ運賃其ノ他納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス

特殊ノモノニシテ別表單價ニ依リ難キモノアルト
キハ其ノ都度丙ガ直接契約スルモノトス

第三條 本品ハ海軍造船造兵主要材料試験検査規則航
空機ノ部第三章所定ノ規格ニ適合スルヲ要ス

第四條 丙ハ本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品
名、數量、納期、納入場所其ノ他必要事項ヲ記載
シタル註文書(様式甲)ニ一通ヲ作製シ一通ヲ直接
乙ニ他ノ一通ヲ監督官ニ送付スルモノトス
但シ納期ハ註文書乙ニ到達後凡ソ一箇月以上ノ餘
裕アル如ク取計フモノトス

第五條 乙ハ前條註文書ヲ受領シタルトキハ購買番
號、單價、代價、其ノ他必要ナル事項ヲ記載セル
明細書ヲ附シタル承諾書(様式乙)ヲ監督官ヲ經
テ丙ニ提出スルモノトス

第六條 乙ハ供給スヘキ本品ノ製造工事ニ就テハ總テ
海軍監督官ノ監督検査ヲ受クルモノトス

前項ノ場合丙ハ監督検査委託ノ手續ヲ要セサルモ
ノトス

第七條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要
ト認ムル検査ヲ行ヒ之カ引渡ヲ受クルモノトス

第八條 本品引渡後一箇年以内ニ有害ナリト認ムル取

疵ヲ發見シタルトキハ乙ハ丙ノ要求ニ依リ其ノ指
定期限内ニ無償ニテ之カ引換ヘ又ハ修理ヲ爲スモ
ノトス

第九條 乙ハ契約締結後直ニ契約金額ノ三分ノ二以内
ノ前金拂ヲ甲又ハ丙ニ請求スルコトヲ得

第十條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書
ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノト
ス

分割納入ノ場合ニ在リテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提
出スルモノトス

第十一條 官ニ納入シタル本品代價ハ前條ニ依リ代金
請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂
フモノトス

第十二條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非サレハ
本契約ニ因リテ生スル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ
讓渡セサルモノトス

第十三條 甲ハ必要ト認ムル場合ニハ甲ノ指定スル官
吏ヲシテ本品ノ原價ヲ調査セシムルコトアルヘシ
此ノ場合乙ハ官ニ於テ必要ト認ムル資料ヲ提出ス
ルモノトス

第十四條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守

スルノ義務アルモノトス

第十五條 本契約ニ定ムルモノノ外ハ海軍契約規程並

ニ海軍契約規程施行手續ニ依ルモノトス

右契約ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作り各自記名捺印シテ各

其ノ一通ヲ保有ス

昭和十二年十二月一日

海軍省經理局長 村上春一

東京市大森區大森一丁目

六千四百七十五番地

日本特殊鋼株式會社

取締役社長 大河原榮之助

名古屋市南區東築地三十一番地

株式會社大同電氣製鋼所

取締役社長 下出義雄

(別紙様式添)

(別表添)

海軍公報 (部内限) 號外

様式乙

監督官經由

(番 號)

昭和 年 月 日

受 註 會 社 名

註 文 先 御 中

海軍航空發動機用氣筒粗材注文承諾書

東 監 (阪 監) 番 號

購買番號		納 期			
注文年月日		納 入 場 所			
用 途					
品 名	材 質	數 量	單 價	代 價	記 事
			圓	圓	

備考 指定期限内ニ引受ケ難キトキハ希望納期ヲ納期欄ニ記入スルト
共ニソノ理由符箋ノコト

1827-2

日特ノ分

(昭和十三年四月七日部内限公報號外總製第三號ノ一七八三別表)

發動機名稱	材	質	單	價	備	考
壽二型	い	五	二九 _四	〇〇〇	㊦	荒削
同	い	二八	三九	〇〇〇	同	同
壽三型	い	二八	四五	〇〇〇	同	同
同	假	六六	七二	〇〇〇	同	同
金星	假	六五	三四	五〇〇	同	同
同	假	六六	六〇	〇〇〇	同	同
九一式六〇〇	い	五	一九五	〇〇〇	同	黒皮

大同ノ分

發動機名稱	材	質	單	價	備	考
光	い	二八	四五 _四	五〇〇	㊦	荒削
同	假	六六	七二	〇〇〇	同	同
金星	假	六六	六〇	〇〇〇	同	同

日立(安來)ノ分

發動機名稱	材	質	單	價	備	考
金星	假	六五	三四 _四	五〇〇	㊦	荒削

日本製鋼ノ分

發動機名稱	材	質	單	價	備	考
天風	い	五	三五 _四	〇〇〇	㊦	荒削
同	い	二八	四〇	六〇〇	同	同

様式乙

監督官經由

(番 號)

昭和 年 月 日

受 註 會 社 名

註 文 先 御 中

海軍航空發動機用曲肱軸粗材注文承諾書

東 監 (阪 監) 番 號

購 買 番 號		納 期			
註 文 年 月 日		納 入 場 所			
用 途					
品 名	材 質	數 量	單 價	代 價	記 事
			圓	圓	

備考 指定期限内ニ引受ケ難キトキハ希望納期ヲ納期欄ニ記入スルト
共ニソノ理由符箋ノコト

1830

日特ノ分

(昭和十三年四月七日部内限公報號外綴契第三號ノ一七八四別表)

九一式六〇〇	金星			壽三型		壽二型				天風		發動機名稱
	後部用	中部用	前部用	前部用	前部用	後部用	後部用	前部用	前部用	後部用	前部用	種別
ㄣ	假	假	假	假	假	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	材質
一三三	六二	六二	六二	七三	六七	七三	一三	七三	一三	一三	一三	價
六六〇〇〇〇	一六三〇〇〇	二二三〇〇〇	一九四〇〇〇	一九五〇〇〇	二七〇〇〇〇	一七一〇〇〇	一四五〇〇〇	二二六〇〇〇	一八二〇〇〇	一四七〇〇〇	一七三〇〇〇	備考
ⓐ	同	同	ⓐ	同	同	同	同	同	同	同	ⓐ	備考
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	荒削	

大同ノ分

光			發動機名稱
後部用	前部用	前部用	種別
假	假	假	材質
七三	七三	六七	價
一五三〇〇〇	二五九〇〇〇	二五八〇〇〇	備考
同	ⓐ	ⓐ	備考
同	同	荒削	

1831

海軍公報(部内限)第二千八百八十一號

昭和十三年四月八日(金) 海軍大臣官房

○通牒

海人第一〇五號

昭和十三年四月八日

海軍省人事局長

關係各廳長殿

海軍省事務囑託ノ海軍ニ於ケル人事

取扱ニ關スル件申進

海軍省事務ヲ囑託セラレタル者ノ所屬廳ハ囑託採用ノ具申應トス

但シ右ニ對スル功績調査ハ勤務廳ニ於テ調製ノ上所屬廳ニ移牒スルモノトス

經豫第三號ノ三七

昭和十三年四月一日

海軍省經理局長

各海軍經理部長殿

海軍港務部經費取扱ニ關スル件通牒

海軍公報(部内限)第二千八百八十二號

昭和十三年四月八日

三六九

今般軍令海第二號ヲ以テ海軍港務部條例改正相成候處海軍會計規程第三十九條別表第四(丙)ノ艦船部隊學校主計長ノ中ニハ海軍港務部主計長ヲ含マズ海軍港務部ノ經費取扱ハ從來ト變更ナキ義ニ有之候條仰了知相成度

航本機密第二〇〇〇號

昭和十三年四月一日

海軍航空本部長

佐世保、廣海軍工廠長(殿)
海軍航空廠長(殿)

航空兵器修理材料供給ノ件通牒

昭和二年官房第一五〇一號ニ依リ昭和十三年度(會計年度)各海軍航空隊、航空母艦及航空機搭載艦(臨時搭載スル艦船ヲ除ク)ニ供給スベキ航空兵器修理材料ハ左記金額ノ範圍内ニテ處理スベシ
但シ〇印ヲ附セルモノハ臨時軍事費、海軍臨時軍事費、造船造兵及修理費、造兵費(空補)支辨トス

		供給先	年額
同	龍	霞ヶ浦海軍航空隊	三五、〇〇〇圓
同	多	横須賀海軍航空隊	二五、〇〇〇圓
同	龍	館山海軍航空隊	二四、〇〇〇圓
同	龍	大湊海軍航空隊	一二、〇〇〇圓
同	龍	木更津海軍航空隊	二〇、〇〇〇圓
同	龍	横濱海軍航空隊	一二、〇〇〇圓
同	龍	吳海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
同	龍	佐伯海軍航空隊	二四、〇〇〇圓
同	龍	舞鶴海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
同	龍	佐世保海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
同	龍	大村海軍航空隊	一二、〇〇〇圓
同	龍	鹿屋海軍航空隊	二〇、〇〇〇圓
同	龍	鎮海海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
同	龍	第十二航空隊	一二、〇〇〇圓
同	龍	第十三航空隊	二〇、〇〇〇圓
同	龍	高雄海軍航空隊	一〇、〇〇〇圓
同	龍	軍艦 威	一、五〇〇圓
同	龍	軍艦 多	三〇〇圓
同	龍	軍艦 摩	二、五〇〇圓
同	龍	軍艦 龍	二、五〇〇圓
同	龍	伊號第六潜水艦	二五〇圓
同	龍	伊號第七潜水艦	二〇〇圓
同	龍	軍艦 加	三、〇〇〇圓
同	龍	霧	五〇〇圓
同	龍	川	五〇〇圓
同	龍	迅	二五〇圓
同	龍	日	二五〇圓
同	龍	足	五〇〇圓
同	龍	陸	五〇〇圓
同	龍	奥	五〇〇圓
同	龍	柄	五〇〇圓
同	龍	向	五〇〇圓
同	龍	鯨	二五〇圓
同	龍	内	二五〇圓
同	龍	島	五〇〇圓
同	龍	賀	三、〇〇〇圓
同	龍	雲	五〇〇圓
同	龍	賀	五〇〇圓
同	龍	怒	二五〇圓
同	龍	道	二五〇圓
同	龍	伊	二五〇圓
同	龍	球	二五〇圓
同	龍	長	二五〇圓
同	龍	能	二五〇圓
同	龍	妙	一、五〇〇圓
同	龍	島	五〇〇圓
同	龍	海	五〇〇圓
同	龍	高	二五〇圓
同	龍	呂	二五〇圓
同	龍	登	二五〇圓
同	龍	良	二五〇圓
同	龍	勢	二五〇圓
同	龍	磨	五〇〇圓

同 金剛 五〇〇圓
 同 三隈 五〇〇圓
 同 鈴谷 五〇〇圓
 同 熊野 五〇〇圓
 同 若龍 二、八〇〇圓
 同 那珂 二五〇圓
 同 阿武隈 二五〇圓
 同 特設水上機母艦神川丸 一、三〇〇圓
 同 香久丸 一、五〇〇圓

○辭令

(各通)
 伴野 韶光
 人見 雄三郎
 山本 孫市
 宮本 通治
 松本 豊三
 第二艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(附ニ海軍省)

○雜款

○將旗復歸
 横須賀警備隊司令官ハ四月七日將旗ヲ朝雲ヨリ長門ニ復歸セリ

○郵便物發送先
 水雷艇雄、鳩宛
 四月十日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
 同十五日迄ニ同 佐
 其ノ後ハ 伯

○事務開始
 第十四航空隊ハ鹿屋海軍航空隊内ニ於テ四月六日ヨリ事務ヲ開始セリ

○軍事教育圖書
 去ル三月中納庫セル軍事教育圖書左ノ如シ
 (海軍文庫)

圖書名	標記番號	類別番號
魚雷(九一式)教範	海軍省教範秘 第三二八號	一類 三號
昭和十二年水雷術年報第五	海軍省教範秘 第三二五號E	七四七E
昭和十二年機關術年報第三	海軍省教範秘 第三二六號C	七四七C
昭和十二年砲術年報第二	海軍省教範秘 第三一九號B	七四七B

海軍公報(部内限) 第二千八百八十二號 昭和十三年四月八日

海軍公報(部内限) 第二千八百八十一號 昭和十三年四月八日

三七二

戰 争 史 西洋中世史	海軍省教普 第八四九號B	備 品	九三五B
昭和十三年版 日本國勢圖會	海軍省教普 第一〇六一號	消 耗 品	六 七四
日本精神文化大系 明治時代 篇上卷	海軍省教普 第一〇五九號I	貸 與 品	一〇 六三I
碧巖集講話 秋野孝道著	海軍省教普 第一〇六二號	貸 與 品	一〇 六三
聖典 碧巖集講話 日種讓山著	海軍省教普 第一〇六三號	貸 與 品	一〇 六四
鐵道現業讀本 驛員讀本	海軍省教普 第一〇五九號A	貸 與 品	一三 二八A
分類圖書總目錄	海軍省教普 第一〇六四號	貸 與 品	一三 一八九

○正誤
三月五日號外令達欄官房第一〇〇四號ノ二公稱第三二四六號ノ項中「公稱第七九八號」ハ「公稱第七二八號」ノ、公稱第三二四七號ノ項中「公稱第七二八號」ハ「公稱第七九八號」ノ誤

○艦船所在

指印ハハホ
定ワ要セズ

○四月八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴▲、長門▲、嚴島、春日、澤風▲、雷▲、呂六六▲

掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

太刀風、夕風、松風、春風、旗風、夏雲、山雲、朝雲、帆風、沖風、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九、呂五八、伊二四、伊二三、掃六、掃五

【石川島】

羽風▲

【横濱】

高雄

【浦賀】

掃一▲、掃三▲、掃四▲、秋風▲、霞▲

【神社】

八雲、磐手

【函館】

若竹

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、淀、加古、最上、天龍、大井、扶桑、龍驤

夕顔、吳竹、早苗、菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲、呂二八、呂三四、呂三三、伊五一▲、伊七一▲、伊五三、伊五四、伊五六、伊五七、伊五八、伊七二、伊七三、伊五五

雌、鳩

攝津、室戸

(千歲)▲(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

呂六四▲、伊八▲(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

【因ノ島】

石廊▲

【江田内】

朝風▲、平戸、淺間

【舞鶴】

吾妻▲、八重山

【佐世保】

初雪▲、白雪▲、吹雪▲、皐月、伊五二、(敷)▲、赤城▲、榛名、那智、北上、名取、由良、足柄、梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、夕風、

海軍公報(部内限)第三千八百八十一號

昭和十三年四月八日

三七三

朝風、口若葉、初霜、子日、初春、口大潮、
 滿潮、朝潮、荒潮、峯風、彌生、如月、
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂六〇、
 呂六一、呂六二、呂六三、呂六七、呂六五、
 呂六六、呂六八、口伊六五、伊六六、
 伊六七、伊二、伊三、
 敷島、佐多、野島
 (伊七四)

【長崎】(利根) (筑摩) ▲
 【寺島水道】口陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、
 鬼怒、口川内、口迅鯨、口島海、摩耶、
 口熊野、三隈、鈴谷、口神通、口阿武隈、口蒼龍、
 口夕立、五月雨、村雨、春雨、口白露、時雨、
 有明、夕暮、口江風、山風、海風、涼風、
 口睦月、卯月、口朧、曙、潮、口天霧、朝霧、
 夕霧、口白雲、薄雲、叢雲、東雲、
 口伊一、口伊六、伊四、伊五、伊七、
 口伊六三、伊五九、伊六〇、口伊六一、
 伊六二、伊六四、口伊七〇、伊六八、
 伊六九

【鹿兒島】口羽黒
 鶴見、間宮、鳴戸

【鎮海】口葦、柿、楡

【作業地】口出雲、口龍田、口安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
 堅田、比良、保津、熱海、二見、口木曾、

白鷹、口沖島、多摩、口球磨、口妙高、
 口長良、神威、口能登呂、勝力、口加賀、
 駒橋

栗、梅、蓮、櫻、電、口曉、袂霧、漣、
 口薄、藤、葛、口芙蓉、朝顔、刈萱、口菊月、
 夕月、望月、三月月、口蓼、菱、蓬、口島風、
 灘風、汐風、口疾風、追風

口伊二一、伊二二
 口千鳥、初雁、友鶴、真鶴、口鶴、鴨、鵠、
 隼、鷺、雁
 口掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、早靦、襟裳、洲崎、知床

【航海中】

口文月、水無月、長月 (四日佐世保發)
 隱戸 (六日徳山發—横須賀へ)
 口神風、沼風、波風、野風、大泊 (七日大湊發—津
 輕海峽へ)

(號外二頁、辭令公報添)

1839

海軍公報 (部内限) 號外

測 量 艇 (十米) (發動機附)	第三六號	水路部	定數補充	三菱重工業會社 (橫濱船渠)	橫須賀工廠	同 三月二十五日
同 (同)	第三七號	同	同	同	同	同
淺 濶 船 (デック式)	第三六號	橫須賀海軍建築部	臨時附屬	油谷機械工作所	同	同 三月十五日
同 (同)	第三九號	佐世保海軍建築部	同	同	佐世保工廠	同 九月三日
同 (ベケット式)	第三七號	吳海軍建築部	同	渡邊製鋼所	吳工廠	同
標 的 船 (第一種)	第三七號	橫須賀海軍港務部	同	橫須賀鎮守府司令長官ニ訓令 (橫須賀工廠製造)	同	同 三月末日
同 (同)	第三七號	吳海軍港務部	同	同	同	同

二